



国を選択

ホーム 検索 サイトマップ インターナショナルサイトに戻る

私たちのビジネス

喫煙と健康

私たちのビジネス環境

未成年者の喫煙防止

社会貢献活動

プレスセンター

紙巻たばこに含まれているもの

より詳しい情報

健康への影響

禁煙

▼ **紙巻たばこに含まれているもの**

紙巻たばこの成分

タールとニコチンの量

環境中たばこ煙

研究と開発

喫煙には依存性があり、肺がん、心臓病、肺気腫、その他重大な疾病の原因となります。

私たちは、地域や国の規制の有無にかかわらず、たばこのパッケージやカートンに健康警告を表示しています。また当サイトでは、喫煙が健康に及ぼすさまざまな影響についての情報を掲載しています。

紙巻たばこには何が含まれているのか、喫煙者の方々は知っておかれるべきです。このセクションでは次のような情報を提供しています。

- たばこに添加されている成分およびたばこの葉以外の原材料について
- タールとニコチンの量について

たばこの成分、タールとニコチンの量、環境中たばこ煙についての詳細は、左の各項目からご覧ください。

[友人にメールを送る](#)

内部リンク

[リスクを低減する製品
更なる情報](#)

ホーム 検索 サイトマップ ご利用規約 インターナショナルサイトに戻る



[ホーム](#) [検索](#) [サイトマップ](#) [インターナショナルサイトに戻る](#)
[私たちのビジネス](#)
[喫煙と健康](#)
[私たちのビジネス環境](#)
[未成年者の喫煙防止](#)
[社会貢献活動](#)
[プレスセンター](#)

紙巻たばこの成分

より詳しい情報

内部リンク

たばこの葉以外の紙巻たばこの原材料
[更なる情報](#)

リスクを低減する製品
[更なる情報](#)

外部リンク

(こちらのサイトは、英語のみの掲載となっております。)

米国連邦取引委員会のプレスリリース、1999年3月3日(英語)
[更なる情報](#)

ASH: たばこの添加物に関する報告、1999年7月14日(英語)
[更なる情報](#)

[健康への影響](#)
[禁煙](#)
[紙巻たばこに含まれているもの](#)
[紙巻たばこの成分](#)
[タールとニコチンの量](#)
[環境中たばこ煙](#)
[研究と開発](#)

当社のたばこ製品に含まれているもの

当社の紙巻たばこは、主にたばこの葉で構成されています。

また、当社の紙巻たばこにはさまざまな成分も添加されています。多くの国では政府が紙巻たばこの成分に規制を設けています。例えばドイツのように、当局が使用を認める成分と禁止する成分のリストを発行している国もあります。

私たちは多くの国々で、販売されている当社製品に使用される成分についての詳細なデータをその政府に提供しています。これらの情報をご覧になるには、下記の国名をクリックしてください。

(以下のリンクは英語表示のみとなっております。)

[アルゼンチン](#) [オーストリア](#) [オーストラリア](#) [ベルギー](#) [ブラジル](#) [チリ](#) [デンマーク](#) [フランス](#) [ドイツ](#) [ギリシャ](#) [ハンガリー](#) [アイスランド](#) [アイルランド](#) [イタリア](#) [カザフスタン](#) [リトアニア](#) [ルクセンブルグ](#) [メキシコ](#) [モルドバ](#) [オランダ](#) [ニュージーランド](#) [ノルウェー](#) [ポーランド](#) [ポルトガル](#) [ロシア](#) [シンガポール](#) [スロベニア](#) [スペイン](#) [スウェーデン](#) [スイス](#) [タイ](#) [ウクライナ](#) [英国](#)

他の消費者向け製品と同様に企業秘密として保護したうえで、政府はたばこに使用されている成分を監視するべきであると私たちは考えています。たばこに関する規制についての詳細は、当サイトの「私たちのビジネス環境」をご覧ください。

紙巻たばこには、巻紙やフィルターなど外部の業者から供給される原材料も使用されています。たばこの葉以外の主な原材料については、右のリンクからご覧ください。

喫煙に関する政府の健康警告は、添加成分の有無にかかわらず、たばこの葉と紙だけから成る製品も含め、すべてのたばこ製品に適用されるものです。米国連邦取引委員会の消費者保護担当ディレクターは、「添加物のない紙巻たばこが他のたばこより安全であるといった誤った考えを一掃する」ための措置を取るとともに、1999年には「安全なたばこというものは存在しない」ことを明言しています。この件に関連する連邦取引委員会のプレスリリースは、右のリンクからご覧いただけます。

当社としてはこれを否定しますが、当社が有害でニコチンの供給量に影響を及ぼすような成分をいくつか使用しているとの主張があります。右のASHへのリンクから、これらの主張を要約した記事をご覧ください。

[友入にメールを送る](#)

[ホーム](#) [検索](#) [サイトマップ](#) [ご利用規約](#) [インターナショナルサイトに戻る](#)



国を選択

ホーム 検索 サイトマップ インターナショナルサイトに戻る

私たちのビジネス

喫煙と健康

私たちのビジネス環境

未成年者の喫煙防止

社会貢献活動

プレスセンター

タールとニコチンの量

より詳しい情報

内部リンク

参考文献一覧
[更なる情報](#)

紙巻たばこの空気孔
[更なる情報](#)

リスクを低減する製品
[更なる情報](#)

外部リンク

(こちらのサイトは、英語のみの掲載となっております。)

WHOオスロ研究論文: 26ページ 低タール製品参考資料(英語 PDF)
[更なる情報](#)

測定に関する1998年の米国たばこ業界コメント(英語 PDF)
[更なる情報](#)

機械による測定値の限界に関する1999年のFTCプレスリリース(英語)
[更なる情報](#)

機械による測定値の限界に関する1999年のFTC分析(英語 PDF)
[更なる情報](#)

たばこ・コントロール・オンライン: 欧州連合(EU)規定に関する1999年度記事(英語)
[更なる情報](#)

米国立がん研究所: 低タール紙巻たばこの利点についての論争(英語)
[更なる情報](#)

測定方式の見直しに関するFTCの1998年の文書(英語 PDF)
[更なる情報](#)

オーストラリア政府: 1999年度国家たばこ戦略文献(英語)
[更なる情報](#)

FTC消費者警告: 「アップ・イン・スモーク: タールとニコチン評価の真実」(英語)
[更なる情報](#)

FTC測定に関する米国保健省の1999年度分析(英語 PDF)
[更なる情報](#)

たばこ健康に関する英国科学委員会の1998年度報告(英語)
[更なる情報](#)

米国医学研究所2001年度

- 健康への影響
- 禁煙
- ▼ 紙巻たばこに含まれているもの
 - 紙巻たばこの成分
 - タールとニコチンの量**
 - 環境中たばこ煙
 - 研究と開発

その数値が意味するもの、意味しないもの

紙巻たばこの吸い方は人によって異なります。各銘柄に表示されているタール、ニコチンの量は、喫煙者が実際に吸い込む量を正確に示すものではありません。また、その目的で表示しているものでもありません。これらの数値は標準化された測定方式に基づき、さまざまな銘柄を同一の試験環境のもとで機械に「吸わせて」比較し、得られたものです。規制当局がその導入時から述べているように、米国連邦取引委員会(FTC)と国際標準化機構(ISO)の協力で開発されたものも含めて、これらの測定方式ではたばこが機械とまったく同じ方法で吸われた場合の銘柄間の相対的な量の違いが示されます。測定方式についての詳細は右のリンクをご覧ください。

実際に喫煙したとき、表示されている機械による測定値と同量のタールとニコチンを吸うことになると考えている喫煙者の方もいるようです。「タール・ニコチン値を見る際には、実際に吸い込むタール、ニコチンの量は吸い方によってかなり異なるということを十分に理解しておく必要がある。」とFTCは述べています。喫煙者がタールとニコチン量の数値について誤った理解をしているというFTCの記事の詳細については、右のリンクをご覧ください。

「あなたが吸い込むタールとニコチンの量は、たばこの吸い方によって異なります。」

ルース デンプシー サイエнтиフィック・プロダクト・アセスメント担当ディレクター

当社の銘柄には、タールの数値を参考にして、「ライト」、「ウルトラライト」といった表現を使っているものがいくつかあります。しかし、これらの用語は、機械測定で得られた数値と同様、喫煙者が実際に吸い込むタールとニコチンの量を正確に示すものではありません。これらの用語は「ディスクリプター」と呼ばれるもので、各銘柄をその味の強さやタール測定値といった特徴で比較するのに役立つものと考えています。しかし、「ライト」や「ウルトラライト」の銘柄が「安全」であるとか、フルフレーバーの銘柄より「安全」であるといったことを、私たちがマーケティング活動において示唆することはありませんし、また喫煙者の皆様にもそのようにお考えにならないでいただきたいと思っています。実際、世界保健機関は、低タールのたばこに切り替えても特に健康上の利点をもたらさないと報告しています。「安全なたばこというものはない」と述べているFTCのプレスリリースをはじめ、低タールたばこに関する公衆衛生当局の見解の詳細については、右のリンクをご覧ください。当社銘柄のディスクリプターに関しては、このページの後半で詳しくお伝えしています。

たばこから吸い込むタールとニコチンの量を減らしたいと考えている喫煙者の皆様に、もうひとつお伝えしたいことがあります。タールやニコチン量の少ない銘柄のたばこを吸う場合は、タールやニコチン量の多い銘柄のたばこを吸う場合とは異なる吸い方をすることによって少ない分を「補償する」といわれています。たとえば、吸う回数を多くしたり、大きく吸い込んだり、より短くなるまで吸ったり、あるいはタールの測定値を低くしている空気孔を塞いで吸ったりすることがあります。一般的には、喫煙者がたば

こを強く吸えば吸うほど、吸い込むタールやニコチンの量は多くなります。このような喫煙者の「補償する」行動がタールとニコチンの摂取量にどのように影響するかについてさらにお知りになりたい方は、右のリンクをご覧ください。

タールとニコチン量の機械による測定

たばこ会社は、標準化された機械測定方式によって紙巻たばこ一本あたりの平均的なタール、ニコチン量を測定しています。米国では、連邦取引委員会(Federal Trade Commission : FTC)と1967年に開発した「FTC方式」と呼ばれる方式を、その他の国々では国際標準化機構(ISO)が開発した同様の方式を採用しています。これらの測定方式は、同一の試験環境下で機械にたばこを吸わせたときの各銘柄のタール、ニコチンの量を比較し、その量の相対的な差を示しています。

しかし、機械測定では、どの銘柄も同じ方法で「吸われる」こととなります。例えば、FTC方式では機械は1分毎に1回、2秒間、一定の量(35ミリリットル)の煙を吸い込みます。また、フィルターを一定の深さまで挿入することも決められています。他の方式もほぼ同様です。

このような機械による測定方式は、喫煙者が実際に何をどのように吸い込むかを正確に反映することを意図したものではありません。1967年にFTCが現行の測定方式を発表した際に、「人の喫煙状況を正確に再現できる測定方法はなく、許容範囲を相当広くした場合でも、この方法は正しい、あるいは間違っているという決定は下せない。測定の目的は、喫煙者が実際に吸い込むタールやニコチン量を測るのではなく、あくまでも機械がたばこを吸った時の量を測定することである。」と述べています。機械測定の限界について述べたFTCの1967年のプレスリリースをご覧ください。右のリンクをご覧ください。

1997年、FTCはその測定方式の改訂を提案しました。現在、方式の再評価をおこない具体的な改訂案を策定中です。また、米国での機械測定方式についてたばこ業界は1998年にコメントを発表しています。右のリンクからその導入部分をご覧ください。

機械方式にはこのように限界があることから、喫煙者は銘柄のパッケージや広告に印された数値が、喫煙したとき実際に吸われるタールやニコチンの量と同じであると考えべきではありません。また、お好みの銘柄のたばこから吸い込むタールやニコチン量が、他の銘柄と比べて多いか少ないかを正確に示すものと考えべきでもありません。

フィリップ モリスによるディスクリプターの使用

当社の銘柄にはしばしば、「フルフレーバー」、「ライト」、「ウルトラライト」という表現が使われています。こうした用語は「ディスクリプター」と呼ばれ、喫煙者の方々がさまざまな銘柄の特徴を見分ける際に役立つものです。

ディスクリプターは主に、その国で販売されているさまざまな銘柄を味の強さやフレーバー、機械測定で得られたタール、ニコチン量などの特徴によって比較するのに役立ちます。しかし、ディスクリプターが、喫煙者が実際に吸い込むタールやニコチンの量を正確に示しているとか、他の銘柄と比べて多いか少ないかを正確に示していると考えべきではありません。「ライト」のたばこを吸っていても「フルフレーバー」のたばこと同じ量のタールやニコチンを吸い込んでいる場合があるという研究報告もあります。詳しくは、右のリンクをご覧ください。

フィリップ モリスは、低タール・低ニコチンの銘柄が「安全」である、あるいはフルフレーバーの銘柄より「安全」であるというようなことをマーケティング活動において示唆することはありませんし、喫煙者の皆様にもそのようにお考えにならないでいただきたいと思っています。タール、ニコチンの量に関わらず、当社のすべて

報告:「クリアリング・ザ・スモーク」(英語)
[更なる情報](#)

英国ASH: 英国紙巻たばこ生産量に関する1999年度政府報告(英語)
[更なる情報](#)

測定開始に関する1967年FTCプレスリリース(英語)
[更なる情報](#)

米国公衆衛生総監報告

(こちらのサイトは、英語のみの掲載となっております。)

規制とたばこに関する2000年度報告
[更なる情報](#)

の銘柄には健康警告が表示されています。FTCは、「たばこが健康に及ぼす影響を心配するならば、喫煙をやめるべきである。簡潔に言えば、安全な紙巻たばこというものは存在しない。」と述べています。また、「これまで低タール・低ニコチンのたばこがあると想定されていたいくつかの健康上の利点は存在しないかもしれないことを最新のデータは示している、と米国立がん研究所 (National Cancer Institute)と米国食品医薬品局 (US Food and Drug Administration)がコメントしている」ことも繰り返し述べています。

この件についての詳細については、右のリンクからご覧ください。

今日では、公衆衛生当局が「リスクが少ない」と認めるような紙巻たばこは存在しないということを心に留めておいてください。喫煙のリスクを心配される喫煙者の皆様にとって、そのリスクを減らす最善の方法は禁煙です。

喫煙者の皆様の嗜好が多岐にわたることから、フィリップ モリスでは、機械測定によるタール・ニコチン量が異なるさまざまな製品を提供しています。今後とも、これに基づいて当社の各銘柄の特徴の違いを伝えていくことは適切だと考えており、「ライト」や「ウルトラライト」などのディスクリプターは、この違いを喫煙者の皆様に伝えていくのに役立つものと考えています。

 [友人にメールを送る](#)

[ホーム](#) [検索](#) [サイトマップ](#) [ご利用規約](#) [インターナショナルサイトに戻る](#)



国を選択 ▶▶

[ホーム](#) [検索](#) [サイトマップ](#) [インターナショナルサイトに戻る](#)

[私たちのビジネス](#)
ス

[喫煙と健康](#)
康

[私たちのビジネス](#)
環境

[未成年者の喫煙](#)
防止

[社会貢献活](#)
動

[プレスセンタ](#)
ー

環境中たばこ煙



より詳しい情報

内部リンク

[リスクを低減する製品](#)
[更なる情報](#)

[公共の場所における喫煙](#)
[規制](#)
[更なる情報](#)

外部リンク

(こちらのサイトは、英語のみの掲載となっております。)

[国際がん研究所\(英語\)](#)
[更なる情報](#)

[米国環境保護局\(英語\)](#)
[更なる情報](#)

[たばこと健康に関する英国科学委員会の1998年度報告\(英語\)](#)
[更なる情報](#)

[オーストラリア国民健康及び医療研究評議会: 環境中たばこ煙に関する1997年度研究論文\(英語\)](#)
[更なる情報](#)

[カリフォルニア環境保護局\(英語\)](#)
[更なる情報](#)

[世界保健機関: 環境中たばこ煙について\(英語\)](#)
[更なる情報](#)

[米国国家毒性プログラム\(英語\)](#)
[更なる情報](#)

[米国医学研究所2000年度報告: 「クリアリング ザエアール」\(英語\)](#)
[更なる情報](#)

[環境中たばこ煙と子供たち: ソーラックス・オンラインによる報告\(英語\)](#)
[更なる情報](#)

米国公衆衛生総監報告

(こちらのサイトは、英語のみの掲載となっております。)

[1986年度報告](#)
[更なる情報](#)

[その他の報告](#)
[更なる情報](#)

健康への影響

禁煙

紙巻たばこに含まれているもの

▶ [環境中たばこ煙](#)

[研究と開発](#)

環境中たばこ煙は、成人の非喫煙者に肺がんや心臓病などの疾病を、また子供たちに喘息、呼吸器感染、咳、端鳴、中耳炎、乳幼児突然死症候群などを引き起こすと、公衆衛生当局は結論づけています。さらに、環境中たばこ煙は成人の喘息を悪化させるおそれがあり、目、喉、鼻の炎症の原因にもなりうると結論づけています。環境中たばこ煙とは、火のついたたばこの先端から出る煙と、喫煙者が吐き出す煙を合わせたもののことをいいます。

たばこの煙がある場所にいるかどうか、また喫煙者であれば、いつどこで喫煙するかについては、環境中たばこ煙が健康に及ぼす影響に関する公衆衛生当局の見解を基に判断されるべきです。また、子供の周りでは喫煙は控えるなど、特に子供に対しては十分な配慮が必要です。

このような公衆衛生当局の結論に基づいて公共の場所での喫煙を規制するのは適切な措置であると私たちは考えています。また、喫煙が許されている場所では、上記のような公衆衛生当局の見解を伝える警告が表示されるよう政府によって義務づけられるべきであると考えています。

環境中たばこ煙に関する公衆衛生当局の見解については、右のリンクをご覧ください。

成人の喘息と環境中たばこ煙に関する米国医学研究所 (Institute of Medicine) の見解も、右のリンクからご覧いただけます。

環境中たばこ煙と子供についての研究については、右の関連リンクをご覧ください。

✉ [友人にメールを送る](#)

[ホーム](#) [検索](#) [サイトマップ](#) [ご利用規約](#) [インターナショナルサイトに戻る](#)

14



国を選択

ホーム 検索 サイトマップ インターナショナルサイトに戻る

私たちのビジネス

喫煙と健康

私たちのビジネス環境

未成年者の喫煙防止

社会貢献活動

プレスセンター

研究と開発



より詳しい情報

内部リンク

リスクを低減する製品
[更なる情報](#)

外部リンク

(こちらのサイトは、英語のみの掲載となっております。)

米国医学研究所(英語)
[更なる情報](#)

米国医学研究所2001年度報告:「クリアリング ザスモーク」(英語)
[更なる情報](#)

健康への影響

禁煙

紙巻たばこに含まれているもの

環境中たばこ煙

▶ 研究と開発

当社の研究プログラム

喫煙が健康に及ぼす影響を低減する可能性のある製品を開発することは、私たちの重要な課題のひとつです。長年にわたりその研究に取り組んでおり、その結果を規制当局や公衆衛生当局と共有してきました。

私たちの研究開発活動には、当社内の研究プログラムのほか、完全に当社外で展開されるプロジェクトがあります。

私たちが世界中で展開している研究プログラムには、3つの大きな目標があります。たばこ製品が健康に及ぼす影響に関する一般的な科学上の知識の積み上げに貢献すること、健康への影響を減らす可能性のある製品への改良・設計方法を開発すること、そしてその改良の効果を評価する有効な方法を開発することです。

「当社が、健康に及ぼす影響を低減する可能性のあるたばこ製品の開発に向けて最善を尽くしていくことを、みなさまにお約束します」

アンドレ カランザポラス 社長兼CEO

私たちが現在取り組んでいる研究には、姉妹会社であるフィリップ モリス USAが米国で行っている、喫煙者がたばこの煙に曝されることについての研究などがあります。この研究では、たばこの構造が異なった場合、実際の喫煙者の曝露レベルがどのように異なってくるのか、その相違の関連性を見出すことを目指しています。この研究から得られたデータが、リスクを低減する新製品の開発の礎となることを期待しています。

この他、たばこの葉が燃える際に発生する有害な化学物質の形成を防止すること、あるいはそのレベルを低く抑えることにも焦点をあてて、研究開発に取り組んでいます。

[✉ 友人にメールを送る](#)

ホーム 検索 サイトマップ ご利用規約 インターナショナルサイトに戻る